

今月はお正月に欠かせない「しめかざり」についての本をご紹介します。

『しめかざり』

森 須磨子／文・絵 福音館書店 2010年 1365円

<お勧め年齢>

幼稚園☆☆☆ 小低学年★☆☆ 小中学年★★★ 小高学年★★☆ 中学生★☆☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

みなさんの家ではお正月にしめかざりをかざりますか？しめかざりとは、お正月に「年神様」という新しい年を元気に過ごすための力をさずけてくれる神様を家にお迎えするためにかざるかざりです。昔から人々はこのしめかざりに大切な気持ちをこめてかざってきました。その大切な気持ちがいろいろな形になってたくさんの種類のしめかざりが伝わっています。この本にはしめかざりの作り方や、しめかざりの意味などしめかざりについてたくさんの方が書いてあります。この本を読めば来年はあなたもきっと特別な気持ちをもってしめかざりをかざることでしょ。

<子どもに手渡すときのポイント>

子ども向けの本ですが、左を「聖」、右を「俗」とする風習や、エビの飾りが長寿を意味することなど、日本に古くから伝わる考え方が随所に紹介されていて、大変興味深い本です。写真ではなく、全て絵で紹介してありますが、お正月に欠かせない赤の色が効果的に使っていて、ただ眺めるだけでも美しい本となっています。お正月以外ではなかなか手にとらない本でもあると思いますので、この機会にぜひ子どもたちに紹介してみてください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。



子ども図書館 重村 さやか